

誰もが抱える悩みをパパッと解決！

# 福田貴一先生の



早稲田アカデミー  
教育事業第二本部副部長  
福田 貴一

# 福が来るアドバイス

## 家庭学習をうまく進める三つのポイント

進学塾の新学期は、小学校よりもひと足早く2月から始まります。そのため、12月から1月は現学年の「まとめ」の時期であるとともに、新学年への「準備」の時期でもあります。早稲田アカデミーでも、各校舎で「新年度説明会」を実施し、新学年の内容について詳しくご説明させていただきます。今回は、家庭学習の進め方について書かせていただきます。

**「決まった時間に、決まった内容を、決まった場所で」**

小学生の家庭学習をうまく進めるためのポイントとして、私は「時間・内容・場所」の三つを挙げさせていただいております。保護者などでは「決まった時間に、決まった内容を、決まった場所で」というように表現させていただくこともあります。この三つを事前に決めておくことで、毎日の家庭学習が習慣化されていきます。

まず「時間」という点では、1週間の「学習スケジュール」をお考えいただくところから始めることとなります。ただ、「学習スケジュール」を固めるといっても、お子様の1週間の「生活リズム」をつくっていく、という方向で考え

ていただくことをおすすめしています。私が個別面談などで「学習スケジュール」についてお話しさせていただく際には、まずお子様の起床時刻・就寝時刻をうかがうところからスタートします。その次に、学校・塾・習い事の時間を確認し、友達と遊ぶ曜日や時間帯、ご家庭での食事の時間などもうかがいながら、生活全体のスケジュールをつくっていきます。もちろん、全ての時間を埋めてしまうのではなく、ある程度「空き時間」の時間もとりながら。そして、最後に学習時間を決めていくようにしています。

**「学習時間」だけではなく「学習内容」も決めておく**

早稲田アカデミーでは、毎回の授業で必ず宿題（家庭学習指示）が出されます。次の授業で

きちんと分けて、1週間のどの時間帯で行うかを決めておくのが一番良い方法です。多くの塾では、テキストのごとからなど、宿題の内容は毎回概ね決まっていると思います。まずはその点を確認し、「学習スケジュール」をお決めいただくのが良いでしょう。そして、一番のポイントになるのは、その課題にどれくらいの時間をかけるのか、という点です。

**課題にかける時間を決める**

「学習スケジュール」を考えるときには、その課題にどれくらいの時間をかける必要があるのかを確認することが必要です。ご不明な場合は、担当の先生にどの程度時間がかかるイメージでその宿題を指示しているのか、ご確認いただくのが良いでしょう。もちろん、保護者の皆様が宿題をご覧になって、かける時間を考えていただいてもよいと思います。「スタートの時間」だけでなく「終わりの時間」も決めておき、その時間内に終わらせるように最初から「計画」してしまってください。お子様のタイプによっては、「タイムトライアル」式に毎回かかった時間を記録しておき、タイム更新を目標にするのも効果的です。

「決められた時間内に、決められた学習をやりたい切る」という経験を重ねることで、お子様は日々の学習のなかで達成感を得ることが出来ます。加えて、学習に向けた「やる気」を高める効果も期待できます。

**「学習場所」を決める**

もう一つのポイントである「学習場所」についてですが、この点はご家庭の環境によって大きく変わると思います。一概に「ここが良い」とお伝えすることはできないのですが、ご家庭のなかで「お子様が一番集中して学習できる場所」にするという観点でお考えいただきたいのです。大人の目線で考えると、一人になれて他人の音が聞こえない場所が一番集中できると思いがちですが、小学生の場合はそうでないケースもあるようです。夜、シーンとした部屋に一人でいると何となく不安になってしまう……、というのは、小学生としては普通のことだと思います。逆に誰かの「気配」が感じられる場所の方が、安心して学習に取り組める場合が多いのではないのでしょうか。そういった点を考慮して、「リビング学習」を選択しているご家庭が多いようです。

実は、「リビング学習」にはもう一つの利点があります。というよりも、子ども用学習机の欠点といってもよいかもしれません。中学受験のためのテキストは比較的「大判」にできているものが多いです。家庭学習のときに、その大きなテキストを広げて、さらにプリントやノート、参考にするテキストなども広げると、一般的な小学生用の学習机では手狭になってしまっているのではないのでしょうか。そういった点からも、リビングテーブルの方が学習しやすいということ

は先生がやっているかどうかのチェックを行うので、少し難しいと感じても手を抜くわけにはいきません。そのため、通塾が初めてのお子様は、慣れるまでは少し大変に感じるかもしれません。

宿題をうまく進めるためには、宿題の内容を



ともあるようです。

「学習場所」についてはもう一つ、できればその場所が「学習のための場所」であることが望ましいと思います。この点はご家庭の環境によって異なりますから、「必ず」とまではいえませんが、高学年になる段階では、少しお考えいただければと思います。

1週間の「学習スケジュール」をもとにして学習を進めていけるようになると、毎日の学習がスムーズに行えるようになってくるはずですが、また、その日の学習内容が決まっていますから、それが終われば「今日の課題はちゃんと終わった」という達成感を得ることができ、それが継続していけば自己肯定感を高めることにもつながります。ぜひ、新しい学年からの学習に取り入れてみてください。

福田 貴一 四つ葉café 公開中!

福田 貴一  
早稲田アカデミー  
教育事業第二本部  
副部長

中学受験に関するブログを公開しています。このブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はWebをご確認ください。  
早稲田アカデミー 検索

左の二次元コードを  
読み込んで  
ご覧下さい  
スマートフォンから